

2024 年 12 月 2 日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

アプリケーションの開発工程を自動化し、開発者の負荷を軽減 クラウドネイティブ技術でリリースまでの迅速化を図る

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:新宮 達史、本社:東京都港区、略称:CTC)は、クラウドネイティブ技術を活用してアプリケーション開発の効率化を実現する「プラットフォームエンジニアリングサービス」の提供を開始します。アプリケーションの開発工程に自動化技術を用いることで、開発者の負荷を軽減し、リリースまでの迅速化を図るものです。3 年間で 50 社の導入を目指します。

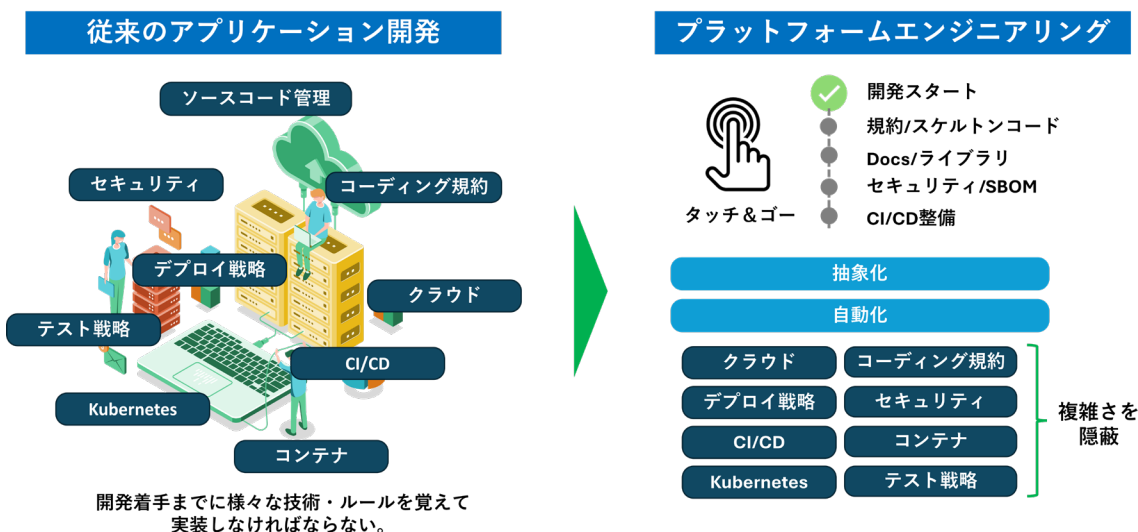
柔軟なアプリケーション開発が可能なクラウドネイティブ技術では、新しいサービスや機能が次々と登場するため、開発者が考慮すべき情報が煩雑になる傾向にあります。そのような中、設定やテスト、実装などの開発環境に関連する工程を自動化し、効率的な開発を可能にするプラットフォームエンジニアリングという考え方に注目が集まっています。

今回提供するプラットフォームエンジニアリングサービスは、開発プラットフォームとして Red Hat Inc. の Red Hat Developer Hub を活用し、アプリケーションの設計から開発、テスト、本番環境までを自動化する開発プラットフォームの構築をトータルでサポートするものです。Red Hat Developer Hub は、最新のクラウドネイティブ技術を取り入れたツールやテンプレートの選択、外部システムやデータベースとの API 連携、直観的な GUI が特長で、コンテナやマイクロサービスなどのアーキテクチャ、ソースコード、テストプログラムをテンプレート化することで、各機能を使用した開発に瞬時に取り組むことができます。加えて、バグやセキュリティの脆弱性を自動で検出し、早期に改修・実装することで手戻りを防ぎ品質の向上にもつながります。テスト環境や本番環境への実装も自動化されており、短期間での開発・テスト・実装の繰り返しを可能にして迅速なアプリケーション提供を実現します。

本サービスは、2020 年から提供する CTC のクラウドネイティブ技術支援サービス「C-Native」のメニューの 1 つで、オブザーバビリティ(可観測性)の手法を用いた運用自動化サービス「C-Native SRE サービス」を組み合わせ提供し、要件にあったツールやテンプレートの設定に加えて、チーム単位でのプラットフォーム活用に向けたハンズオントレーニングや運用サービスでトータルに支援します。

今後は、汎用的な環境設定やテンプレートをパッケージ化した構築サービスの提供も予定しており、お客様のクラウドネイティブ技術の導入やアプリケーション開発の更なる効率化に貢献していきます。

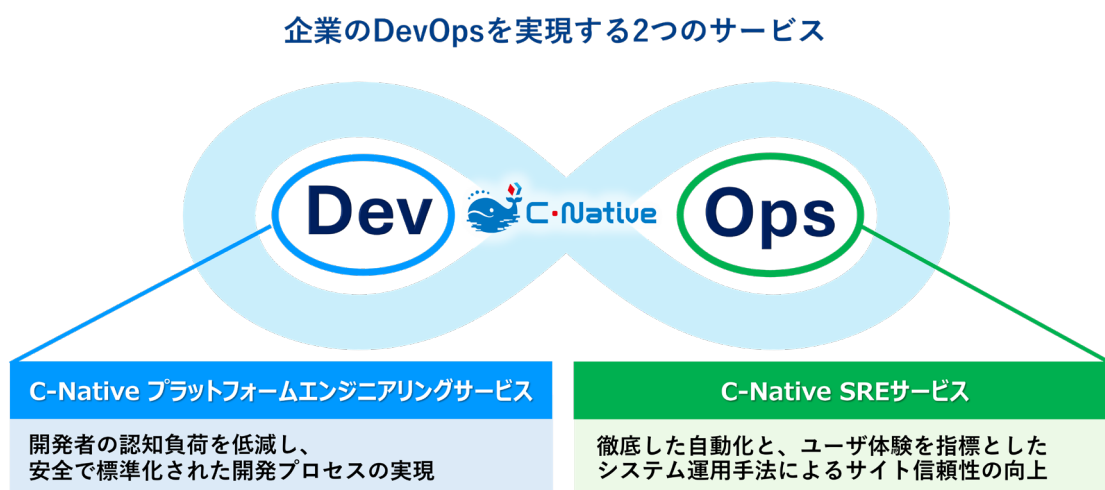
＜プラットフォームエンジニアリングのイメージ＞



＜プラットフォームエンジニアリングサービス内容＞



＜プラットフォームエンジニアリングサービスと SRE サービス＞



<クラウドネイティブ環境の導入支援サービス C-Native>

C-Native は、コンテナ型仮想化技術の導入、移行、運用支援をパッケージ化した CTC オリジナルのサービスです。クラウドネイティブ技術・製品にフォーカスしたソリューション・サービスを通じて、お客様の DX (デジタルトランスフォーメーション) を支援します。

URL: <https://www.ctc-g.co.jp/solutions/c-native/about/>

- ※1 コンテナ:アプリケーションとその実行環境を 1 つにパッケージ化し、一貫して動作させる仮想化技術のこと。
- ※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- ※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

<報道機関からのお問い合わせ先>

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

広報部

E-mail: press@ctc-g.co.jp